

相良中学校だより

重点目標「自ら考え、進んで行動する」



1年間ありがとうございました

「ありがとう」の反対は？

ありがとうの反対の言葉は何だと思いますか？

世界中で愛されたマザー・テレサは、『「ありがとう」の反対の言葉は『当たり前』とおっしゃったそうです。漢字で「ありがとう」は「有(ある)ことが難(むずか)しい」と書きます。貴重で大切だという意味になり、だから感動し、感謝するのですね。それが「当たり前」だと思ってしまえば、驚きも感謝の気持ちも生まれなくなります。…

(令和8年3月11日の牧之原市学校給食センター「キャロット通信」より)

これは、3月11日(水)牧之原市学校給食センターから出された「キャロット通信」の一部です。「キャロット通信」は、毎日の給食時に昼の放送で読み上げられています。

15年前(平成23年)のこの日、東北地方太平洋沖地震とそれに伴う津波・火災・原発事故により、一瞬にして2万人以上の方が亡くなったり行方不明になったりしました。生まれ育った故郷を離れ、新しい生活を始めた人も多くいます。これまでの「当たり前」が、「当たり前」でなくなった時間です。

6年前(令和2年)の2月、安倍総理からの要請で、全国すべての小・中・高・特別支援学校が突然の臨時休校となりました。新型コロナウイルス感染症によるものです。学校から子供たちの笑顔や笑い声が消え、それからしばらくの間、学校の「当たり前」がなくなってしまいました。

この1年間を振り返ったとき、毎日登校できたことも、時間に遅れないように授業を始め先生の話の聞いたり友達と話し合ったりできたことも、給食をみんなで仲良く食べられたことも、様々な行事や部活動に夢中になって取り組めたことも、そして、けんかもしたけれど最後は「ごめんね。」と仲直りできたことも、「当たり前」のようで、決して「当たり前」なことではなかったのです。そうやって考えると、相良中での生活の中には「有り難いこと」が毎日あふれていたのですね。「ありがとう」は相手を幸せにする言葉ですが、同時に、自分が幸せであると確認できる魔法の言葉の気がします。

全校生徒の皆さん、相良中学校の生徒でいてくれて、ありがとう。

この1年間、いや、相良中学校に務めさせていただいたこの3年間、元気に笑顔で生活してくれて、ありがとう。



2年生 高校調べ発表会



1年生 職業講話



5・6・8組 校外学習

もうすぐ令和7年度が終わろうとしています。



- 学校とは、楽しいところである。
- 学校とは、挑戦するところである。
- 学校とは、学習と生活の基礎を練るところである。
- 学校とは、仲間と力を合わせ「宝」を創造するところである。

相良中学校が、生徒一人一人にとってこのような学校になっていくよう、また、「ありがとう」の花であふれる学校になっていくよう、これからも全職員、全力で取り組んでまいります。そのためには、保護者の皆様、地域の方々の御支援、御協力が必要です。

今年1年の感謝を伝えるとともに、今後も変わらぬ御支援をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

令和8年3月17日

牧之原市立相良中学校長 北島 克己



3年生 校長による道徳授業



3/6(金) 3年生に感謝を伝える会

生徒会が中心となり、あたたかな感謝の会を開催しました。有志による趣向を凝らした出し物で会場が盛り上がり、最後は互いの思いを込めた合唱が体育館中に響き渡りました。笑いと感動に包まれた、3年生へ感謝を届ける素敵な会となりました。

